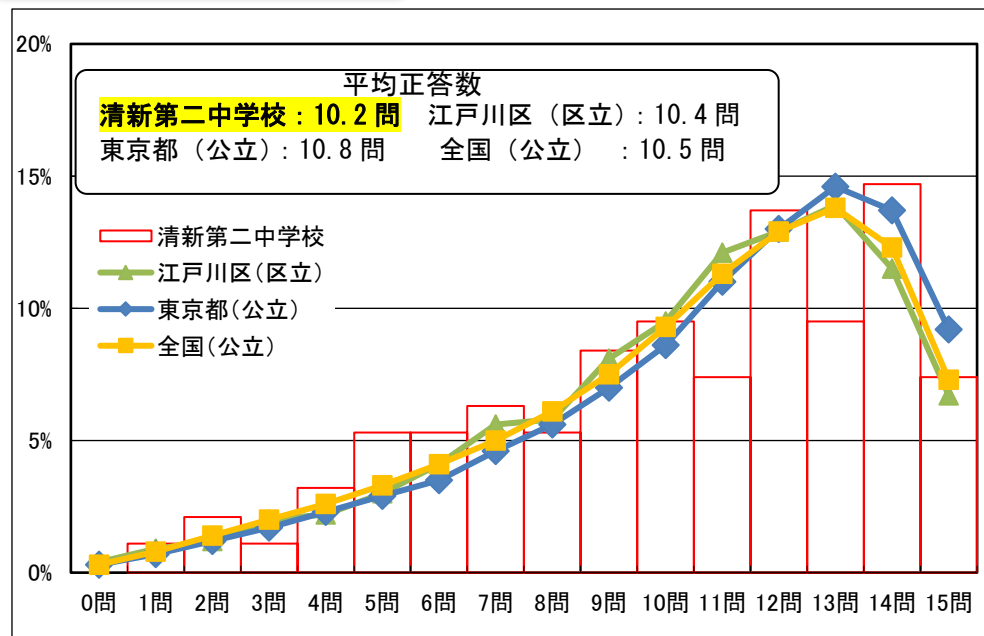


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 清新第二中学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

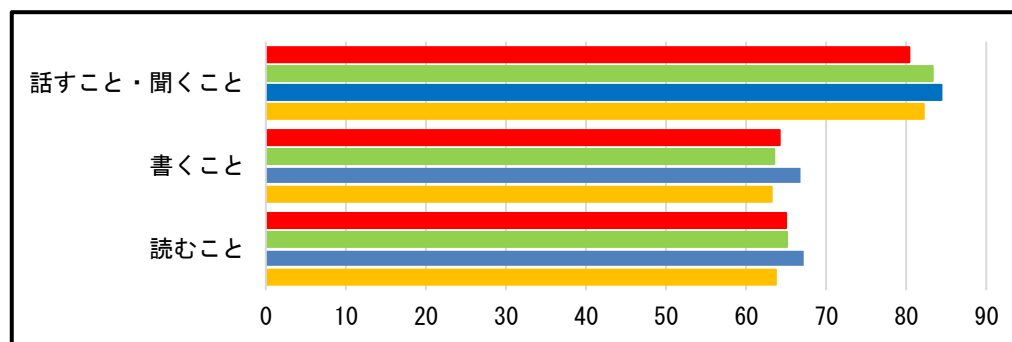
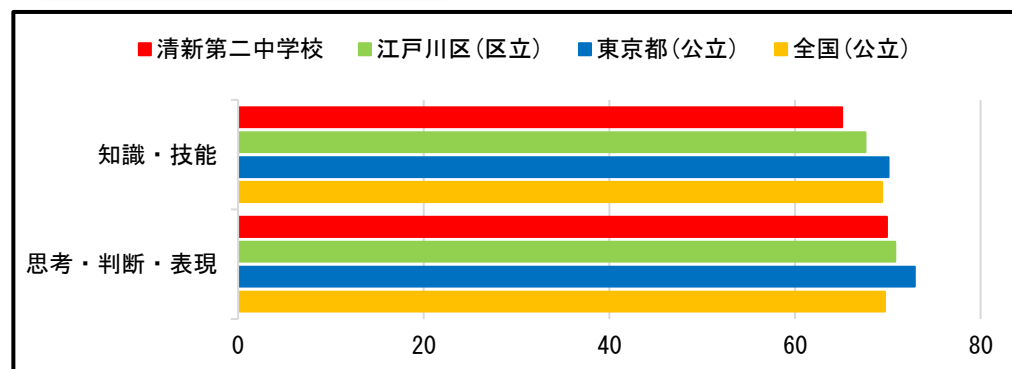
国語	上位 ← 下位			
	A層 13～15 問	B層 12 問	C層 9～11 問	D層 0～8 問
清新第二中学校	31.6	13.0	25.2	29.6
江戸川区(区立)	32.1	12.9	29.7	25.3
東京都(公立)	37.5	13.0	26.6	22.9
全国(公立)	33.4	12.9	28.1	25.6

【平均正答率の差】

清新第二中学校	68%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	-1.8%

%

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

全国平均を1.8ポイント下回った。東京都の平均からは4.0ポイント下回っている。また、内容・観点別にみると、「話すこと・聞くこと」「知識・技能」で全国平均を大きく下回っている。以上の事柄から、しっかりとした知識を身に付け、それを基盤としたスピーチや発表等が必要と考える。これらの活動により、将来的にはプレゼンテーション能力の向上を目的とし授業改善を行う。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。